

I . 2014年度第2四半期の業績

- 1.連結損益計算書
- 2.連結貸借対照表
- 3.連結キャッシュ・フロー計算書
- 4.セグメント情報

1. 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)		2014年度 第2四半期計画 (2014.4.30公表)	差異 (差異率)	
営業収益	198,201	196,912	△	1,289 (△ 0.7)	198,500	△1,587	(△ 0.8)
営業利益	19,228	19,042	△	186 (△ 1.0)	17,700	1,342	(7.6)
経常利益	17,706	18,169		462 (2.6)	16,400	1,769	(10.8)
四半期純利益	10,856	11,823		967 (8.9)	10,100	1,723	(17.1)
EBITDA	35,758	36,191		432 (1.2)			
減価償却費	16,327	16,946		619 (3.8)			
資本的支出	12,148	12,655		506 (4.2)			

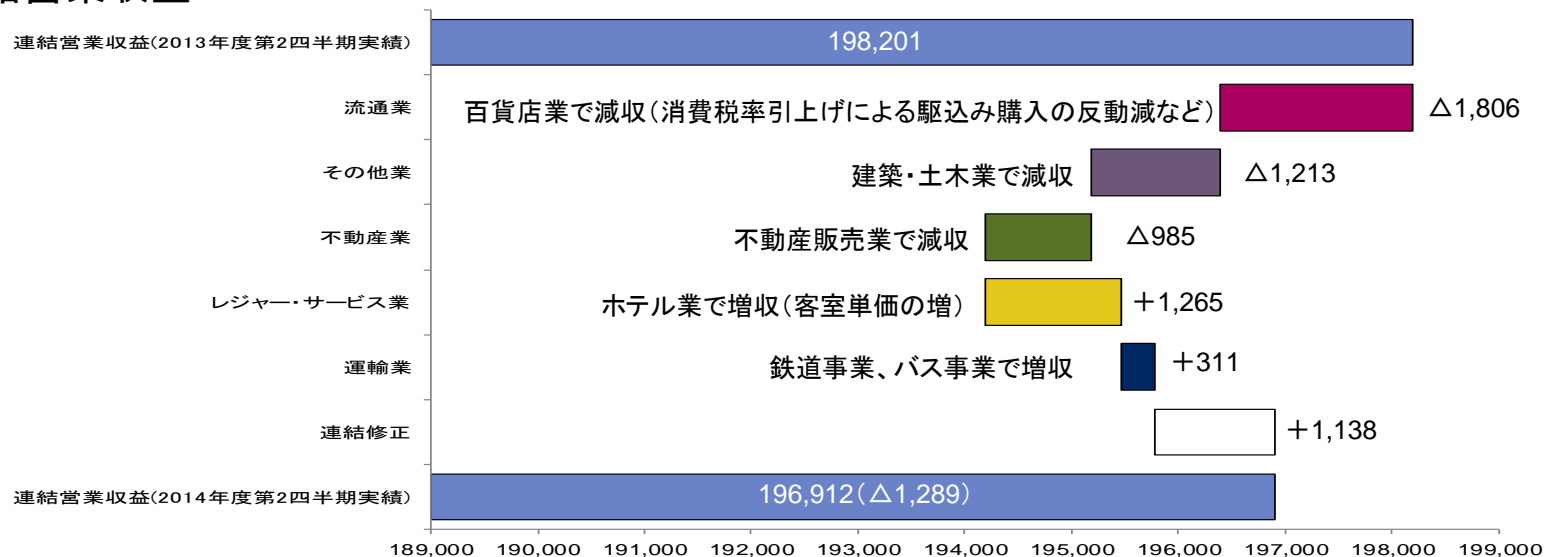
(注) 1 EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

2 2014年度第2四半期計画値は、2014年4月30日の公表値である。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

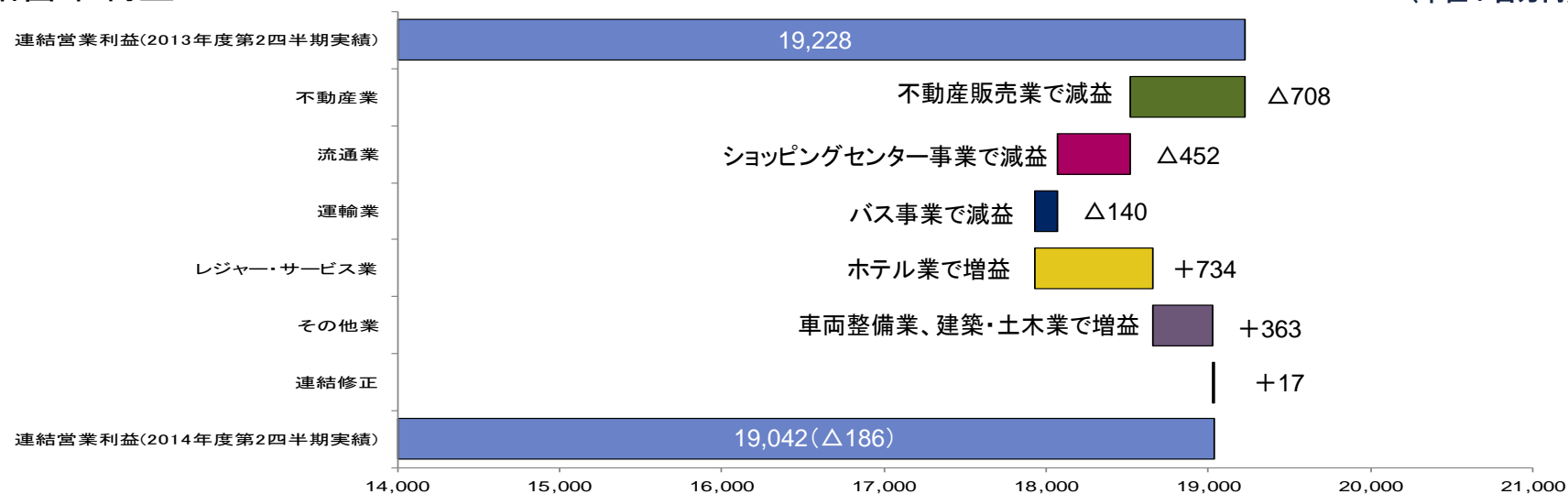
（単位：百万円）

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

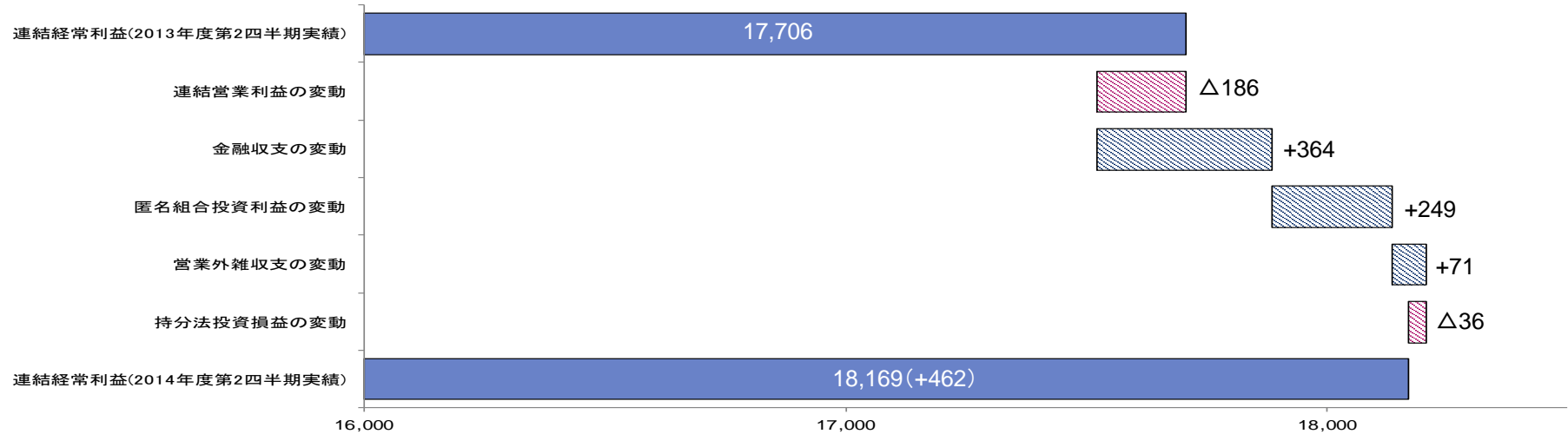
（単位：百万円）



1-3. 経常利益・四半期純利益の変動要因（対前期比較）

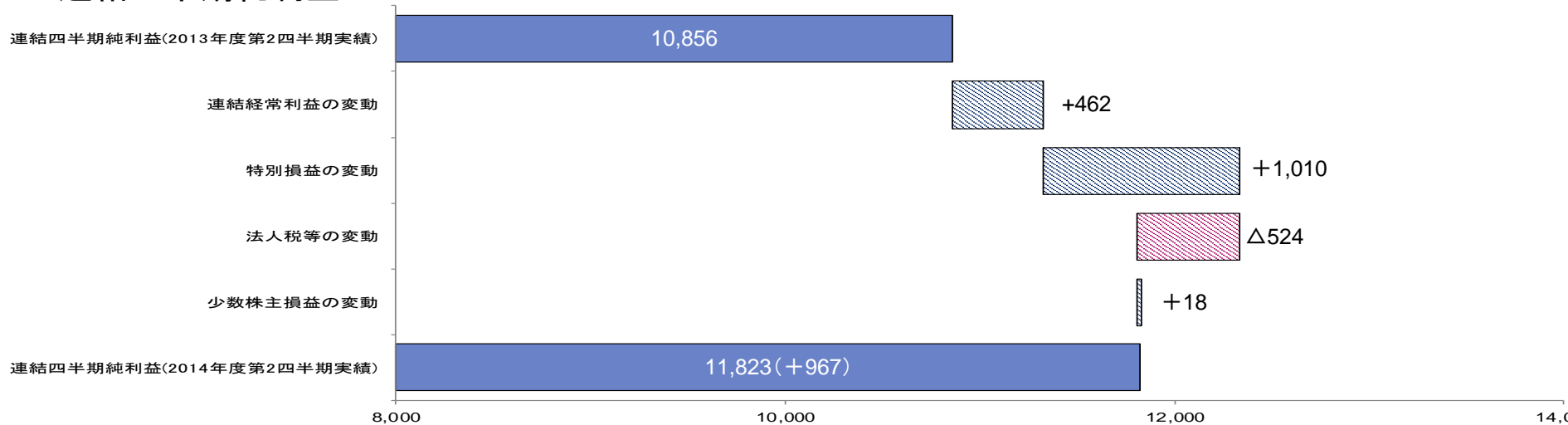
1. 連結経常利益

(単位：百万円)



2. 連結四半期純利益

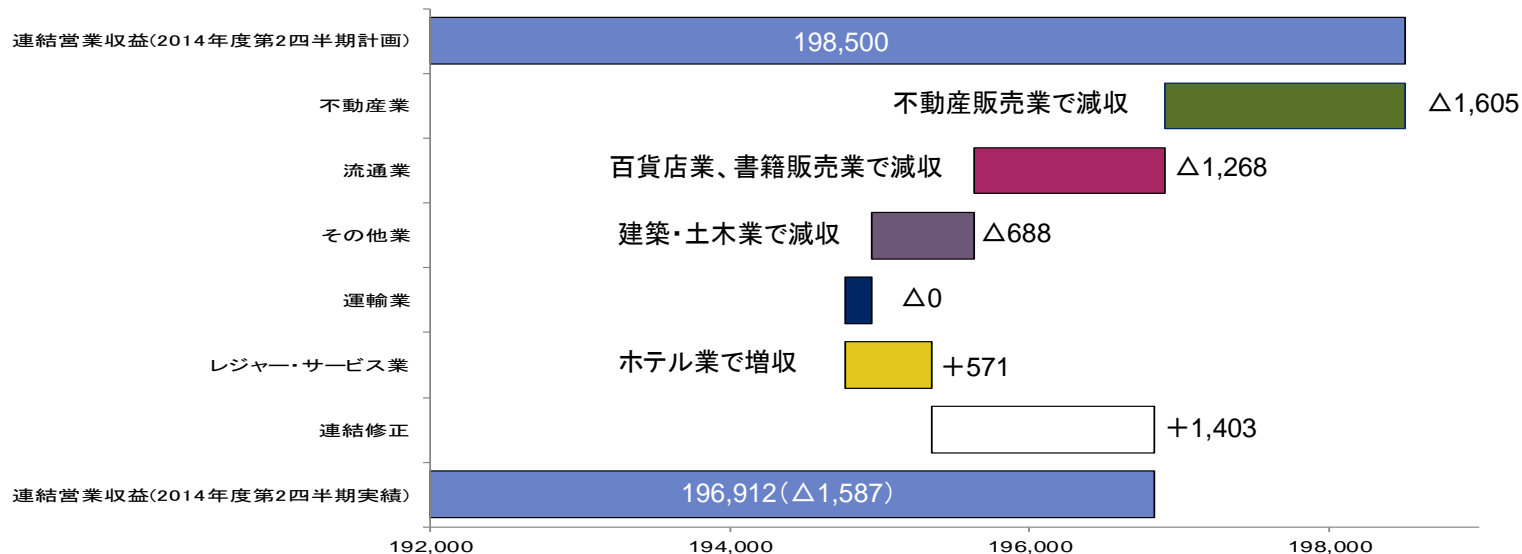
(単位：百万円)



1-4. 営業収益・営業利益の変動要因 (対計画< 4月30日公表ベース>比較)

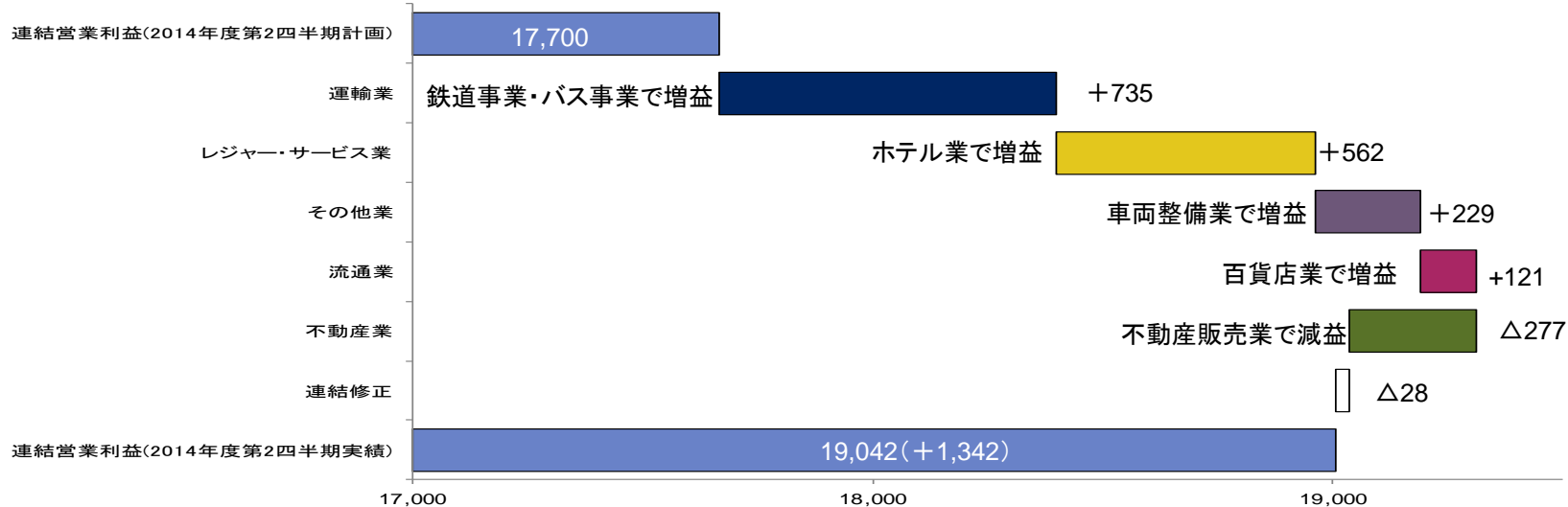
(単位：百万円)

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

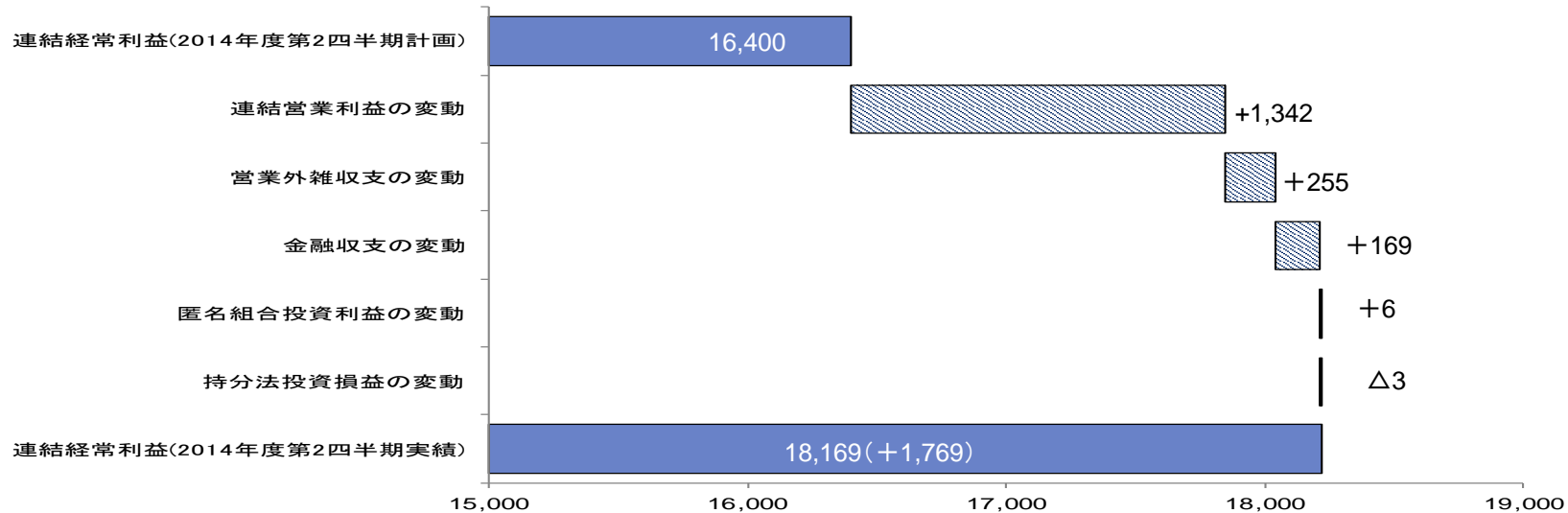
(単位：百万円)



1-5. 経常利益・四半期純利益の変動要因 (対計画< 4月30日公表ベース>比較)

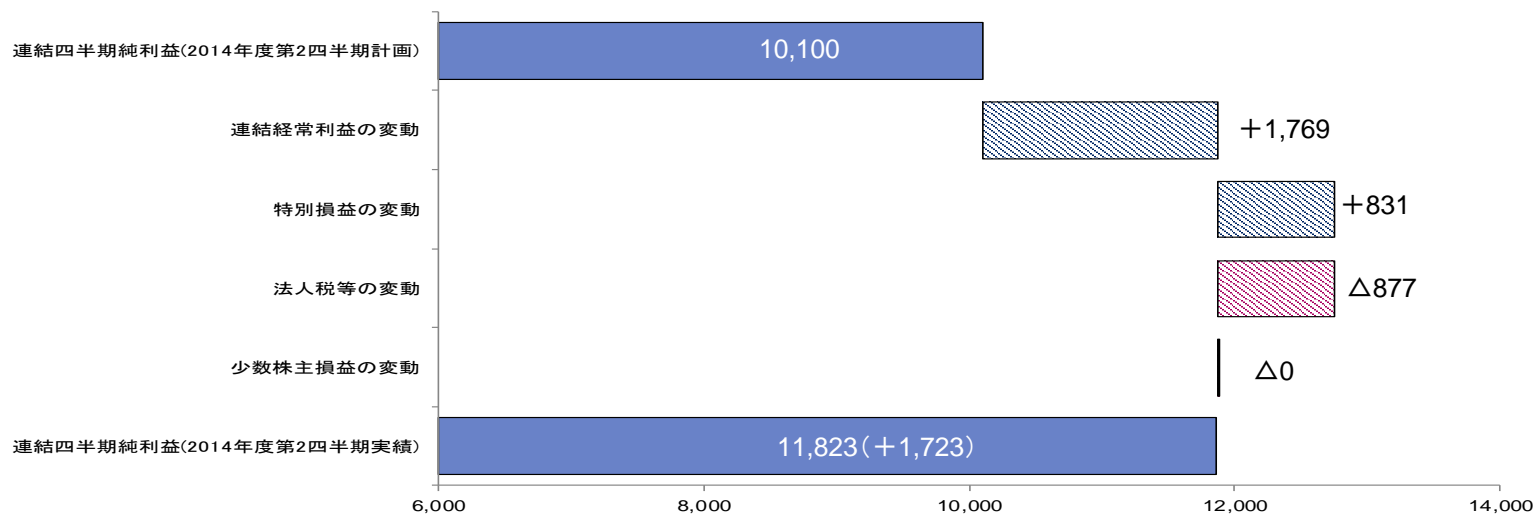
1. 連結経常利益

(単位：百万円)



2. 連結四半期純利益

(単位：百万円)



2. 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	2013年度 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
総 資 産	787,825	772,403	△ 15,421	鉄道事業等における減価償却の進行による有形固定資産の減、投資有価証券の償還
負 債	495,218	474,596	△ 20,621	工事代金の支払い
純 資 産	292,607	297,807	5,199	四半期純利益の計上により増加
負債及び純資産	787,825	772,403	△ 15,421	
有利子負債	328,941	325,161	△ 3,779	

(注) 有利子負債は、借入金＋社債＋鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金により算出している。

3.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2013年度 第2四半期実績	2014年度 第2四半期実績	増減	増減要因
営業活動 キャッシュ・フロー	31,232	28,324	△ 2,907	
投資活動 キャッシュ・フロー	△ 26,192	△ 16,073	10,119	投資有価証券の売却及び償還による収入の増
財務活動 キャッシュ・フロー	△ 37,590	△ 6,495	31,904	社債の償還による支出の減
現金及び 現金同等物の 期末残高	51,249	77,230	25,981	

4.セグメント情報(構成状況)

連結会社

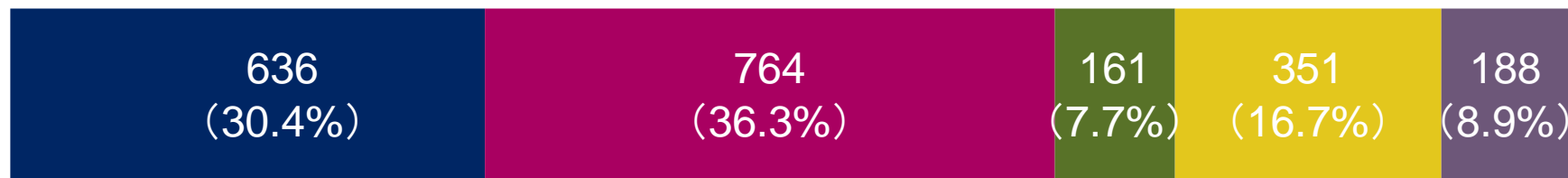
2014年9月末現在 39社 (京王電鉄は複数の事業セグメントに重複)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 6社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 6社	京王電鉄 京王不動産 京王地下駐車場 リビタ	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 9社

営業収益

2014年度第2四半期: 1,969億円

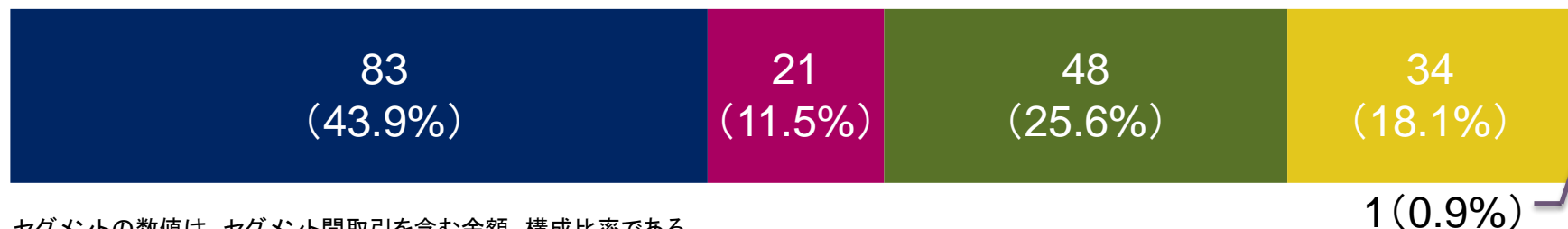
<単位:億円>



営業利益

2014年度第2四半期: 190億円

<単位:億円>



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

4.セグメント情報(運輸業①)

(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減要因	2014年度 第2四半期 計画 (2014.4.30公表ベース)	差異 (差異率)
(鉄道事業)	40,697	40,960	263 (0.6)	次ページ参照	40,917	43 (0.1)
(バス事業)	17,292	17,531	239 (1.4)		17,412	119 (0.7)
(タクシー業)	6,368	6,284	△ 83 (△ 1.3)		6,372	△ 88 (△ 1.4)
(その他)	1,232	1,306	73 (6.0)		1,301	4 (0.4)
(消去)	△ 2,212	△ 2,393	△ 181 —		△ 2,223	△ 170 —
営業収益	63,378	63,689	311 (0.5)		63,780	△ 91 (△ 0.1)
営業利益	8,466	8,326	△ 140 (△ 1.7)		7,591	735 (9.7)
減価償却費	11,276	11,684	407 (3.6)			
資本的支出	5,778	4,977	△ 801 (△ 13.9)			
E B I T D A	19,743	20,010	267 (1.4)			

4.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減(増減率)		増減要因
輸 送 人 員	定 期	185,649	186,289	640	(0.3)	雇用情勢の改善など
	(通 勤)	135,490	137,535	2,045	(1.5)	
	(通 学)	50,159	48,754	△ 1,405	(△ 2.8)	
	定 期 外	130,803	131,092	289	(0.2)	沿線施設への来訪者の増加など
	合 計	316,452	317,381	929	(0.3)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	16,771	16,770	△ 0	(△ 0.0)	
	(通 勤)	14,791	14,859	68	(0.5)	
	(通 学)	1,980	1,911	△ 68	(△ 3.5)	
	定 期 外	22,226	22,381	155	(0.7)	輸送人員の増など
	合 計	38,997	39,152	154	(0.4)	

〔参考〕 鉄道の取り組み

新宿駅・渋谷駅のどちらも利用できる通勤定期券の概要

- 新宿駅・渋谷駅どちらでも乗り降りできる通勤定期券「**どっちも**」を9月1日から発売

発売券種：PASMOの通勤定期券 ※磁気定期券、通学定期券は対象外

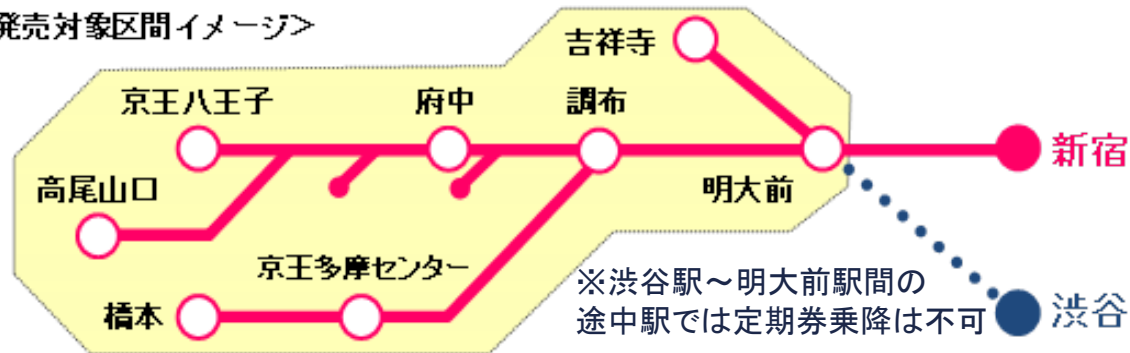
発売金額：新宿駅または渋谷駅までの定期運賃+1,000円(1か月の場合)

[3か月の場合+2,850円、6か月の場合+5,400円] ※記載は大人運賃、小児運賃は大人運賃の半額

発売対象区間

- ① 明大前駅以西の各駅(京王線・井の頭線とも) ⇔ 新宿駅 + 渋谷駅で乗降可能

<発売対象区間イメージ>

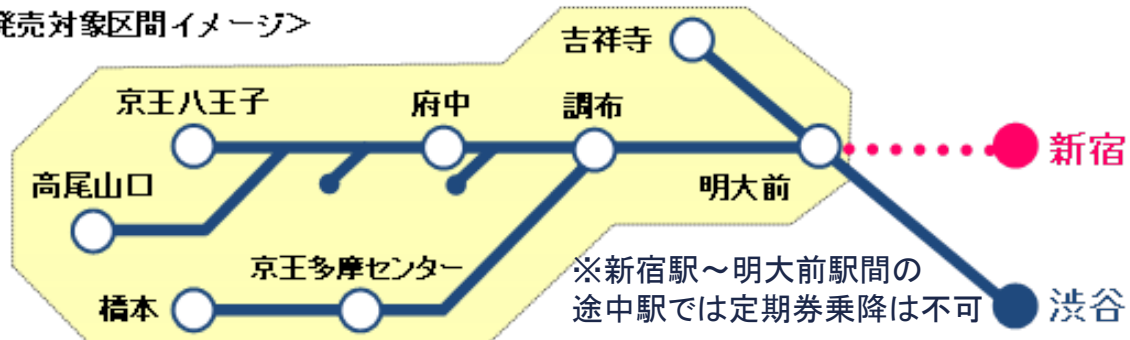


<券面イメージ>



- ② 明大前駅以西の各駅(京王線・井の頭線とも) ⇔ 渋谷駅 + 新宿駅で乗降可能

<発売対象区間イメージ>



<告知ポスター>



4.セグメント情報(流通業)

(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減要因	2014年度 第2四半期 計画 (2014.4.30公表 ベース)	差異 (差異率)
(百貨店業)	43,331	40,917	△ 2,413 (△ 5.6)	駆込み購入 反動減など	41,865	△ 947 (△ 2.3)
(ストア業)	18,276	18,646	370 (2.0)	既存店の 売上増	18,202	444 (2.4)
(書籍販売業)	4,920	4,523	△ 396 (△ 8.1)		5,072	△ 548 (△ 10.8)
(駅売店業)	4,125	3,953	△ 171 (△ 4.2)		4,257	△ 303 (△ 7.1)
(ショッピングセンター事業)	5,262	6,197	935 (17.8)	キラリナ京王 吉祥寺開業	6,106	91 (1.5)
(その他)	5,572	5,629	56 (1.0)		5,732	△ 102 (△ 1.8)
(消去)	△ 3,274	△ 3,461	△ 187 —		△ 3,560	98 —
営業収益	78,213	76,406	△ 1,806 (△ 2.3)		77,674	△ 1,268 (△ 1.6)
営業利益	2,636	2,183	△ 452 (△ 17.2)		2,062	121 (5.9)
減価償却費	1,452	1,838	385 (26.6)			
資本的支出	1,366	1,783	416 (30.5)			
E B I T D A	4,088	4,021	△ 66 (△ 1.6)			

〔参考〕 主要各社の取り組み

「キラリナ京王吉祥寺」グランドオープン

- 地下1階フードパルクに京王百貨店がプロデュースする3店舗と京王ストアが新たに出店し、グランドオープンしました。

現況(井の頭線側より)



- 京王百貨店では、品質にこだわった精肉・鮮魚・青果の3店舗をプロデュースしました。



日常生活に上質さと新しさをプラスする
新スタイルの食品フロア「Food parc(フードパルク)」

- 京王ストアでは、「選ぶ楽しさ・満足の美味しさ」をコンセプトにした「キッチンコート」を出店しました。



4.セグメント情報(不動産業)

(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減要因	2014年度 第2四半期 計画 (2014.4.30公表ベース)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	14,916	14,980	63 (0.4)		14,825	154 (1.0)
(不動産販売業)	6,101	4,665	△ 1,435 (△ 23.5)		7,112	△ 2,447 (△ 34.4)
(その他)	484	631	147 (30.4)		673	△ 41 (△ 6.2)
(消去)	△ 4,353	△ 4,114	239 —		△ 4,843	728 —
営業収益	17,148	16,163	△ 985 (△ 5.7)		17,768	△ 1,605 (△ 9.0)
営業利益	5,575	4,867	△ 708 (△ 12.7)		5,144	△ 277 (△ 5.4)
減価償却費	1,909	1,832	△ 76 (△ 4.0)			
資本的支出	950	667	△ 283 (△ 29.8)			
E B I T D A	7,687	6,902	△ 785 (△ 10.2)			

参考：不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	50	49	△ 1 (△ 2.3)		45	4 (8.9)
不動産販売業	6	1	△ 5 (△ 78.3)		5	△ 4 (△ 73.7)

〔参考〕 主要各社の取り組み

リビタにおける新たな取り組み

- リビタは、官民連携型事業として横浜市・横浜市芸術文化振興財団などが行った、横浜ランドマークタワー ドックヤードガーデン(国重要文化財)の活用事業者として選定され、シェア型賃貸住宅の企画・運営ノウハウを活かし、『大人の部活が生まれる、これからの街のサードプレイス』をコンセプトとした新しい形のシェアスペース「BUKATSUDO」を開業しました。



4.セグメント情報(レジャー・サービス業)

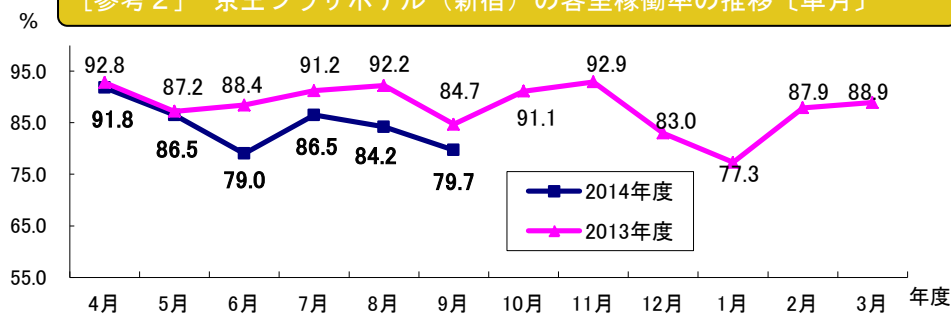
(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減要因	2014年度 第2四半期 計画 (2014.4.30公表ベース)	差異 (差異率)
(ホテル業)	21,407	21,876	468 (2.2)	プラザホテル	21,491	384 (1.8)
(旅行業)	9,349	9,171	△ 178 (△ 1.9)		9,487	△ 316 (△ 3.3)
(広告代理業)	4,834	5,674	839 (17.4)		5,314	359 (6.8)
(その他)	3,143	3,200	56 (1.8)		3,151	49 (1.6)
(消去)	△ 4,850	△ 4,770	79 -		△ 4,864	94 -
営業収益	33,885	35,151	1,265 (3.7)		34,579	571 (1.7)
営業利益	2,694	3,429	734 (27.3)		2,866	562 (19.6)
減価償却費	1,606	1,516	△ 89 (△ 5.6)			
資本的支出	2,737	940	△ 1,796 (△ 65.6)			
E B I T D A	4,300	4,945	644 (15.0)			

[参考1] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率〔累計〕

客室稼働率	89.4%	84.6%	△ 4.8P
-------	-------	-------	--------

[参考2] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率の推移〔単月〕



〔参考〕 主要各社の取り組み

京王プラザホテル 2014年度の主なトピックス

- 京王プラザホテルでは、ご利用いただくお客様の満足度を一層高める施策に取り組んでおります。
- その一環として、コーヒーハウス<樹林>を改装し、オールデイダイニング<樹林>として10月30日にリニューアルオープンしました。

Jurin

All Day Dining



- 「みどりの新宿30選」にも選ばれた、広い窓から外に広がる樹木のパンoramaを生かしながら、スタイリッシュで爽やかな温かみのある内装に一新

- オープンキッチンや常設buffetカウンター、可動式パーテーションを採用したほか、スイーツbuffetなど新メニューを展開

4.セグメント情報(その他業)

(単位：百万円、%)

	2013年度 第2四半期 実績	2014年度 第2四半期 実績	増減(増減率)	増減要因	2014年度 第2四半期 計画 (2014.4.30公表ベース)	差異(差異率)
(ビル総合管理業)	9,262	8,907	△ 354 (△ 3.8)		9,270	△ 363 (△ 3.9)
(車両整備業)	2,935	3,532	596 (20.3)		3,222	309 (9.6)
(建築・土木業)	6,029	4,212	△ 1,816 (△ 30.1)		4,886	△ 673 (△ 13.8)
(その他)	2,818	3,098	280 (10.0)		3,195	△ 97 (△ 3.0)
(消去)	△ 1,022	△ 941	81 —		△ 1,077	135 —
営業収益	20,022	18,809	△ 1,213 (△ 6.1)		19,497	△ 688 (△ 3.5)
営業利益	△ 184	178	363 —		△ 50	229 —
減価償却費	173	170	△ 3 (△ 1.9)			
資本的支出	134	3,122	2,987 —			
E B I T D A	△ 11	348	360 —			